

黄河地下水プロジェクトでの水試料採取風景

＜玉生 志郎・石井 武政・内田 洋平・村岡 洋文＞

黄河地下水プロジェクトでは地下水流動を把握するために中国側の協力者とともに現地調査を行い、中国側の地下水観測井を中心に多くの地下水試料を採集しました。その試料を用いて、溶存化学成分や酸素・水素同位体の測定を実施しています。ここでは地下水試料の採取状況を写真で示します。



写真1 陕西省西安市北方北郊水源地の飲料水用井戸（深度約270m）からの同位体分析用の地下水採取。



写真4 寧夏回族自治区銀川市の黄河対岸に発達する砂漠地の植林（楊樹）用の井戸（深度25m）からの水採取。



写真2 陕西省西安市北郊曹家堡南の井戸（深度30m）に採水器を下ろしている様子。



写真5 内蒙古自治区巴彥泥爾盟の河套平野の灌溉用井戸水の採取・測定風景（徐 慧珍さん撮影）。



写真3 寧夏回族自治区銀川市旧市街の寧夏水利水電観測設計院の地熱井（深度3,100m）からの熱水（65℃）の採取。



写真6 内蒙古自治区巴彥泥爾盟の河套平野の五原市内に残る手押し井戸ポンプからの水試料の採取。